



郷小だより

茅ヶ崎市立浜之郷小学校

2023年4月6日

4月号

校長 安倍 武雄

学校教育目標 ～支えあう・聴きあう・学びあう～

子どもたちが自分を再発見し、友だちを再発見し、学ぶことの価値と意味を再発見して「人生最高の6年間」を生み出す学校、そして、その営みを通して教師も親もともに育ちあう学びの共同体としての学校でありたい。

春らしい暖かい日がだんだんと増えてきました。今年は春の訪れが早く、桜こそ早々に散り始めていますが、まさに春爛漫の景色が小出川沿いに広がっています。一つずつ学年が上がった2年生から6年生のみなさん。進級おめでとうございます。また、新たに浜之郷小学校に入学した1年生のみなさん。ご入学本当におめでとうございます。

前任の木村千裕校長に代わり、4月1日に松浪小学校から着任いたしました安倍武雄と申します。学びの共同体の体現をめざす浜之郷小学校の校長として学校を任されることには不安もありますが、それでも懸命に、謙虚に、学校にかかわる全ての方の声に耳を傾けながら学校経営を行って参りたいと考えております。どうぞよろしくお願い申し上げます。

本校は今年度、新たに100名の1年生を迎え、全19学級、総勢529名でのスタートとなります。教職員といたしましては、校長をはじめ13名が着任しました。教職員51名が一丸となり子どもたちを支えてまいります。新型コロナウイルスによる感染拡大は落ち着いてはいるものの油断大敵。三密回避、手洗いの励行、換気など基本的な感染予防策を講じながら、できる限り通常通りの学習活動を進める中で、子どもたち一人一人が自分の居場所を感じることができ、学びがいのある学校づくりに努めてまいります。

さて、学校だよりの冒頭に学校教育目標を紹介させていただきました。人はそれぞれものの感じ方、考え方も違えば、得意不得意も違います。一人一人が違うことが当たり前のことです。だからこそ、互いに認めあわなければなりません。互いが認めあう中で「支えあう・聴きあう・学びあう」(＝互いの弱みや強みを生かし、互いの思いをうけとめ、自分なりの納得がある学びが日常化する～現在の私なりのとらえです～) 学校を目指し、子どもたち一人一人の笑顔が輝くよう教職員一同、力を尽くしてまいります。

子どもたち一人一人の豊かな成長のためには、保護者の皆様、地域の皆様のご理解、ご協力が欠かせません。学校からの情報発信も可能な限り行ってまいります。ぜひ、子どもを真ん中にして、学校、保護者、地域が一丸となり子どもたちの成長を支えていくことに、どうか力を貸してください。私も腰を据えて取り組んでいきたいと思っております。今年度もどうぞよろしくお願い申し上げます。